



### 第30回目の総会を終えて

代表 藤井 純一

新体制での運営がスタートして、最初の総会を無事終えることができました。鹿島林道の通行止めの件に関しては、林道ゲートから約三キロ地点の崩落現場の工事が、昨年初冬に短期間にて終了したようです。この二年間の通行止めは、一般登山者をはじめ、保護活動及びヒュッテ建築工事に大きな影響を与えました。脆弱な林道では、今後同じようなことが起こり得ると思いますが、安全な通行を第一優先にしながら、道立自然公園の適正な利用を考慮した行政判断を望むところであります。

さて炊事棟の建設工事ですが、幸いにも内装工事の材料は事前に運んだもので何とか工面し、足りないものは背負子に括り付けて十キロ近くの林道を何度か運びました。おかげさまで物品庫兼スタッフルームの内装は七分通り完成しました。今年は炊事棟の水回りと外装の完成を目指し、一年でも早く工事を終了して、保護活動、子ども育成事業に力を入れていきたいとおもいます。

二月二十四日旭川の自然保護団体「大雪と石狩の自然を守る会」の四十五周年記念フォーラムに会を代表して、私と事務局長の菊地が行ってきました。

### 第106号

2018.6.1 発行  
(平成30年)

ユウパリコザクラの会  
事務局

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

TEL/FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

 <https://www.facebook.com/yuparikozakura/>



大雪山フォーラムの様子

とてもまねのできることはありません。私たちの会も少しでも守る会に近づきたいと思えます。自然を慈しみ多くのことを自然から学び、はぐくむ子供たちを育てる、終わりになき活動を続けていきましよう。

我が会は自然保護連合に加盟しています。道内の自然保護を掲げる会が連携して自然保護保全に取り組もうという会です。代表的な加盟団体は、北海道自然保護協会、十勝自然保護協会、大雪と石狩の自然を守る会、道央勤労者山岳連盟、道東勤労者山岳

私たちの会は三十年、その十五年前に発足し、四十五年もの長きにわたって続けられたことは、真に凄いことだと思います。永いだけでなく活動内容が多岐にわたって成果を上げ、また長期の計を立てて次世代を担う育成教育に力を注ぎ実行していることは、



林道を徒歩で歩いてヒュッテに向かう。鹿島林道が通行止めになった為、ゲートからヒュッテまでの約9.4 kmは徒歩による移動が余儀なくされた。それでも日帰りで夕張岳を往復する健脚な登山者も見受けられた。

### コザクラだより第106号発行の

遅れについて

事務局内の人員の変更ならびに交代により、引き継ぎ作業が滞り、編集作業が頓挫した状態が続いてまいりました。コザクラだより第106号の発行が大幅に遅れました事をお詫び申し上げます。

連盟そして我が会です。私と旭川の守る会の関口さん、そして十勝の安藤さんの三人が共同代表になっています。第一回目の会合が十勝(ヌプカの里)であり、二回目旭川(当麻)、三回目札幌(手稲パラダイスヒュッテ)でありました。今年は九月に夕張で行います。合わせて北海道自然保護協会の在田さんと旭川の寺島さんに講演をしていただく予定になっていきます。皆様のご協力をお願いいたします。

「ほつくー基金自然環境フォーラム」に参加しました

北洋銀行が創立一〇〇周年を迎え、2017年11月9日北洋大通センタービル4Fでおこなわれました「ほつくー基金自然環境フォーラム」に参加しました。ユウパリコザクラの会は、過去に寄付をいただいた団体を代表した4団体のうちのひとつとして、第一部 寄付先団体からの報告を行いました。コザクラの会以外の発表団体は以下の通りです。大沼ラムサール協議会、釧路市動物園、札幌ワイルドサーモンプロジェクト。

第二部は基調講演が行われ、齊藤慶輔 獣医師(猛禽類医学研究所)様より『絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生を目指して』という内容の公演が行われました。非常に興味深い内容でした。

プログラムが終了した後十三階の社員食堂にて、発表者団体と事務局、主催者での懇親を楽しみました。ほつくー基金は公募制に変わり、一層応募の窓口が広がるようです。



藤井代表のプレゼンの様子



社員食堂での懇親会

アポイ岳ファンクラブ創立20周年記念式典に参加しました

2017年11月11日アポイ岳ファンクラブ創立20周年記念式典に参加してきました。類似町の施設で行われた式典には、町長や議長をはじめ市議会議員の方々(ファンクラブ会員も含む)など60名強の方が参加しておりました。当会からは藤井代表をはじめ3名の参加です。「アポイ岳の高山植物を守り次世代へ」という気持ちで20年間打ちこま



祝賀会終了後の記念撮影

てきたスライドの記念誌も配られ、アポイ岳ファンクラブとユウパリコザクラの会の20年間の交流も時系列で確認できました。アポイ岳ファンクラブ20年の活動内容には大いに学ばなければいけない事がたくさんあり、親密な関係を今後も続けていきたいと思いました。

北海道自然保護連合交流会に参加しました

2017年9月2日3日で北海道自然保護連合の交流会に参加してきました。参加された団体は、北海道自然保護協会、石狩海岸の風力発電を考える石狩市民の会、川に自然と治水を考える会、大雪と石狩の自然を守る会、十勝自然保護協会、ユウパリコザクラの会となりました。

開会から、各会の近況報告に始まり、石狩海岸の風力発電を考える石狩市民の会からのプレゼン、北海道自然保護協会から札幌近郊の山小屋について話題提供がありました。

その後、夕食、懇親会と流れ、翌朝からは石狩市に建設が予定されている風車の建設状況(立地状況)や周りの自然環境の確認を行いました。



風車を真下からみるとかなりの迫力があります



風車の建設現場の確認



石狩海岸にて植物の確認を行う。ここまで来る途中のカシワ・ミズナラの天然林は見事でした。

## 今年最後夕張岳森林パトロールと 登山道の笹刈り

2017年10月1日、今年最後第5回目の夕張岳森林パトロールに行ってきました。今回は登山道の笹刈りを兼ねています。空知総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係の方から助っ人で一名加わっていただきました。天然記念物エリアですので、事前に文化庁の許可を取って頂きました。

6時に出発冷水コースを進みます。9月18日に上陸した台風の影響で冷水コースには数本の倒木があつたが、藤井代表の手で既に処理済みでありました。冷水コースにも若干であつたが、笹が被つていた場所があり、それは剪定ばさみの出番。パチパチと新品のハサミで切込みます。笹は途中で切つてもまた伸びてくるので、時間がたつたら被るでしょうが来年一杯は大丈夫だと思われまふ。

吹き通しから上の日陰の登山道には昨日の夜に降つたと思われる雪がありました。風がやや強かつたですが、真白になつた大雪山、一部雪化粧の十勝岳連峰、遠く羊蹄山まで一望できました。ロープ撤収と笹刈り班に分かれて作業開始です。釣鐘岩から吹き通しまでは背丈が高い笹でしたが、大分綺麗になりました。1400m湿原の近辺は背の低いチシマササが木道を隠していましたが、木道が確認できるようにになりました。

今回はエンジン草刈り機1台のみでの作業の為ともと広範囲の作業はできません。時間が無くなつてきたので、蛇紋岩崩壊地から分岐までと馬の背コースは刈れませんでしたが、この区間はさほど被っていないので、問題ないと思われまふ。



釣鐘岩の下部でささ刈りをするボランティアメンバー。空知振興局から応援メンバーも加わり作業を行った。笹刈りは毎年少しずつでも行う必要があります。

笹刈り作業は毎年少しずつでも継続しないとすぐに笹が蔓延り、大敵のマダニの温床にもなりますので、来期も計画に入りたいと思います。帰りは馬の背コースを通りましたが、先日台風の影響と思われる倒木が4本ありました。内3本に関しては40cm以上の太い木なので処置も大変かもしれません。来春の雪解け後にも例年数本の倒木があるので、まとめて処置する形になるかと思ひます。ヒュッテに到着したのは14時45分で15時過ぎにヒュッテを出発。下りの林道歩でしたが、作業付きの山頂までの往復13.5kmの後の9kmはとてもとても長く感じました。



吹き通しのロープ撤収作業。ロープは来春まで現地にデポしておきます。この日は大夕張コースは通行止めで登山者はゼロだったが、金山コースからは数人の登山者がいた。

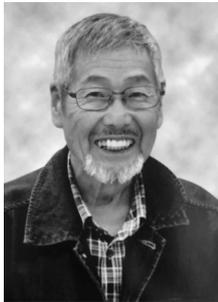


林道通行止めの影響もあり、今シーズンの宿泊は平年の1/4だったヒュッテ。炊事棟の建設作業も資材の運搬が出来ず、計画通りには進まなかった。冬囲いを始める前のヒュッテの写真。

## 平成30年度スケジュール(予定含む)

月	日	各行事内容
5	7(月)	高山植物保護ネット総会
	12(土)	定期総会/講演会 千鳥ヶ滝の会
	19(土)	北海道自然保護協会総会 札幌市資料館
	26(土)~27(日)	ヒュッテ開き準備①
6	2(土)~3(日)	ヒュッテ開き準備②
	4(月)	夕張岳関係者協議会 14:00~夕張市役所
	9(土)	安全登山研修会
	10(日)	第1回森林/第1回高山植物パトロール/ロープ張り
	16(土)	ヒュッテ開き 14:00~
	23(土)~24(日)	7*「岳フカクラ」と交流登山/第2回高山植物パトロール
7	8(日)	第2回森林パトロール/第3回高山植物パトロール
	21(土)~22(日)	第2回文化と自然を学ぶ地域間交流事業/杜のコンサート
	未定	官民合同パトロール
8	18(土)	外来植物除去①
	19(日)	第3回森林/第4回高山植物パトロール/金山巡視
	29(水)-30(木)	夕張小5年生宿泊学習約40名(30日に日帰り登山)
9	1(土)	外来植物除去②
	2(日)	第4回森林パトロール/第5回高山植物パトロール
	15(土)~16(日)	北海道自然保護連合交流会(コザクラの会幹事)
	30(日)	第5回森林/第6回高山植物パトロール/(0-7)撤収
10	6(土)~8(祝)	ヒュッテ冬囲い①
	13(土)~14(日)	ヒュッテ冬囲い②
	14(日)	空知自然保護団体交流会(市民イベント)
11	24(土)	「市民フォーラム」高山植物保護ネット主催
	未定	ヒュッテ巡視パトロール
12	未定	ヒュッテ状況調査
1	未定	ヒュッテ屋根雪下ろし
	未定	30周年記念誌校正完了
2	未定	ヒュッテ状況調査
3	未定	春山パトロール

・ヒュッテ管理人:ヒュッテ開きから8月末まで常駐。9月は日曜、祝前日を予定  
 ・30周年記念誌編集委員会は随時(1回/月)札幌市Lプラザにて行う。  
 ・日程未定行事:日程調整後、別途お知らせ予定。



河村健さん

■□■□■< おくやみ >□■□■□

当会の広報担当ならびにヒュッテ管理委員会の事務局長で、長年ご活躍された河村健さんがさる5月13日に一昨年に発覚したすい臓がんのため、お亡くなりになりました。享年81歳でした。謹んでお悔やみ申し上げます。

ご担当されていた役職については、今年度はコザクラの会事務局長の菊地が兼務にて引き継ぐことにいたしました。

## 平成29年度パトロールと山の様子

### ■監視実績

平成29年6月11日から10月1日まで延べ51人のパトロールを行った。

■6月11日に確認できた植物リスト スダヤクシュ、ネコノメソウ、ノビネチドリ、オオタチツボスミレ、ツボスミレ、ルイヨウショウマ、クルマバソウ、エゾノヨツバムグラ、フッキソウ、ヒメゴヨウイチゴ、クルママツクバネソウ、ミヤマハンショウズル、コウライテンナンショウ、レンプクソウ、エゾイチゲ、ミヤマスミレ、エゾツツジ、ツバメオモト、シラネアオイ、ミズバショウ、エンレイソウ、ケエゾスミレ、コヨウラクツツジ、オオカメノキ、エゾノエンゴサク、エゾノイワハタザオ、ショウジョウバカマ、ミネザクラ、ミツバオウレン、ウスハスミレ、ユウパニコザクラ、アポイタチツボスミレ、ハクサンイチゲ、タカネキンバイ、ユウバリキンバイ、ナンブイヌナズナ、ゴゼンタチバナ、ルイヨウボタン、オオバミゾホオズキ、キバナシャクナゲ

### ■熊出没情報について

今年度は7月上旬から登山者から情報が寄せられヒュッテや登山口において告示と注意を行った。特に例年より低い位置(冷水コース)でも痕跡が発見され、8月の調査登山時はその痕跡は20数カ所に及んでいた。

### ■今年度の入山者数カウンター調べ

・冷水コース登山口 約290名・馬の背コース登山口 約50名 計約340名 昨年の18%



2018/5/12のシューパロ湖越えの滝ノ沢岳と前岳。雪解けは例年より少し早めのようなようです。夕張岳もまもなく登山シーズンを迎えます。

## 会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます!

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

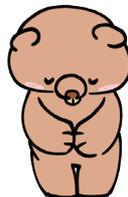
年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義:ユウパニコザクラの会

ゆうちょ口座:02780-9-43747

### 【お仕事の例】

- ・監視パトロール(道委託/森林管理署協定)
- ・ヒュッテ管理人・維持管理(夕張市委託)
- ・高山植物学芸員/文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流/広報・庶務作業



## 夕張岳ヒュッテの維持管理 と炊事棟建設にご支援を!



平成29年4月から平成30年3月末まで48口448,187円の支援を頂きました。

ありがとうございます。今年は水回りを中心にスピードを上げて整備に取り掛かる予定です。作業はボランティアが無給で行っていますが、資材や諸費用が不足しておりますので、今一度のご支援をよろしくお願いいたします。

名義:夕張岳ヒュッテ管理運営委員会

ゆうちょ口座:02750-6-97634